

**明治大学校友会  
東久留米地域支部会報  
第十五号（平成30年9月）**

**平成三十年度（五月二十日開催）**

**東久留米地域支部定時総会**

**三十一名の校友が参加**

平成三十年度の明治大学校友会東久留米地域支部の定時総会と懇親会はさる五月二十日（日）午後一時半より東久留米駅近くの成美教育文化会館三階の



大研修室で行われました。当日は武蔵野の薫風の中を市内の校友を始め近隣の地域支部からの来賓を含めて三十一名の皆様にお集まりいただきました。



総会は長谷川役員の司会で始まり、橋役員の開会の辞。校友物故者へ黙禱の後

に義江地域支部長の挨拶があり「入学志願者など母校の現況、地域支部の活動状況、これからの取り組み」を話されました。来賓の紹介のあと議長選出で義江支部長から松江副支部長が指名・選出され総会の議事に入りました。まず報告事項として川島役員より平成二十九年度の各事業報告。審議事項として平成二十九年度の決算報告の説明が江波役員。会計監査報告が橋役員より行われました。次に平成三十年度の事業計画案と収支予算案が担当役員より提出説明され、報告・審議事項とも異議なく全て承認されました。来賓挨拶では多摩支部太田副幹事長より「母校明治の現況と校友会の在りよう。当地域支部の運営・事業活動の評価」の話をいただきました。

懇親会の前の中休みとして恒例・立川志獅丸師匠による古典落語の一席が披露されました。志獅丸師匠は農学部出身で当地域支部の会員。今回で五年連続の出演を重ね今年秋には真打への昇格が期待されています。



明治大学校友会東久留米地域支部へ積極的なご参加をお願いします。（写真上から記念撮影・会場の成美教育文化会館・総会）

懇親会は川島役員の司会で始まり西東京市水井地域支部長の挨拶と乾杯によりくつろぎの輪が広がりました。明大校友会本部差し入れの銘酒「お明治」を始めビール・ワイン・焼酎などを酌み交しながら親睦を深めました。最後に當麻役員指揮によるエール・全員が肩を組んで一つとなり校歌を高らかに歌い上げて本年度の定時総会を無事終了いたしました。平成二十三年に設立された東久留米地域支部の会員数は昨年10月末で二百十名です。实在校友数は七百四十名ですので、さらに多くの市内在住の明大卒業生の皆さまの理解をいただき

**●平成三十年度の役員（任期二年目）**

- 地域支部長 義江邦夫（昭39・商）
- 副支部長 永倉聡一（昭26・工）
- 副支部長 松江康司（昭49・法）
- 幹事長 伊藤謙一（昭46・経営）
- 総務担当 峯岸文男（昭46・院農）
- 総務担当 島津進一（昭55・工）
- 会計担当 江波洋子（昭37・短経）
- 事業担当 倉田易生（昭37・法）
- 事業担当 長谷川正次（昭51・商）
- 事業担当 宮下礼子（昭35・短経）
- 女子会担当 並木文子（昭57・商）
- 地域担当 當麻一哉（昭61・工）
- 地域担当 小関裕弘（昭32・政経）
- 広報担当 夏目 忠（昭32・商）
- 広報担当 川島英明（昭63・政経）
- 監査 橋 素子（昭57・法）
- 監査 大原康雄（昭61・政経）

**●明治は一つ…明大サポート募金箱を今年も設置**



当地域支部の事業計画の一つに母校への協賛があり、この趣旨にのっとり今年も会場に「明大サポート募金箱」を設置し皆様から協力を仰ぎました。募金総額は二

万四千円となり、さっそく担当者が明治大学キャンパス整備サポート資金へ寄付いたしました。ご協力有難うございました。

●第14回明球会ゴルフコンペ

小雨の中を14名が参加

東久留米地域支部の「明球会」ゴルフコンペは平成三十年六月六日(水)児玉カントリー倶楽部(埼玉県・本庄市)へ十四名が参加して行われました。当日の天候は梅雨入りとなり



なりました。が半袖シャツの元氣なプレイヤーも見かけられ、条件の悪い小雨の中でも随所でナイスプレイを發揮し和氣あいあいのもっとで楽しい一日を過ごしました。

明球会も14回を重ねるうちに平均年齢も高まりましたので、今回より八十歳以上はシニア・テイからのプレイ可能の特別ルールを適用することになりこれからは高齢者の積極的な参加が期待されます。

優勝は小平地域支部から二回目参加の水春樹さん(昭和35・商)がネット72のスコアで初優勝を飾りました。準優勝はネット76の前田昌三さん(昭和38・商)紅一点参加の松江副支部長の奥さんはネット78で6位と健闘しました。今回も小平地域支部から清水さんの他に岡本さん(昭35・商)岸川さん(昭43・工)が参加されて近隣地域支部との交流と親睦を図りました。

プレイ終了後、クラブの二階で義江支部長の挨拶に始まり表彰式を行いました。賞品は優勝者から選択でき



(写真は義江支部長から賞品を受け取る清水さん左) 全員にいきわたりました。茶話会はゴルフプレイの話や近況の話題など楽しい懇談の一時を過ごしました。

会の運営の倉田さん。賞品の手に尽力された峯岸さんにお礼申し上げます。

●お隣の小平地域支部主催  
ゴルフコンペに4名が参加

親睦を深めました

さる6月22日西武園ゴルフ場で行われた小平地域支部の明球会ゴルフ第73回大会に当地域支部から明球会会員の4名が参加しました。

当日は梅雨の晴間の蒸し暑いコンディションの中で新ペリア方式で競技が進められ義江支部長が三位に入賞しました。競技終了後の懇親会ではお互いのプレイを称えあい親睦を深めました。

●第15回明球会ゴルフコンペ

11月7日水児玉カントリー倶楽部

当支部最大のイベント東久留米明球会は11月7日埼玉県児玉丘陵地にある児玉カントリー倶楽部で開催されます。内容は競技ゴルフでなく、あくまでも親睦ゴルフですから初心者から上級者まで和氣あいあいの楽しいゴルフが特徴です。スコアを気にせず一緒に緑の絨毯を闊歩しませんか。

【お問合せ】 倉田まで

●東久留米地域支部の「ついで」

「一緒に楽しみませんか！」

東久留米地域支部では各種催し物を随時開き校友相互の親睦の輪を広げております。校友の皆様に参加をお待ちいたします。

●まずは電話でご連絡を・・・

①働く世代のビジネス交流会

飲み会を兼ねた現役だけの第2回目のビジネス交流会です。ITを始め異業種間のあるゆる情報交換を計ります。

日時11月2日(金)19時より21時

場所・寿美吉(すみよし)本町1・4・6

西口駅前より徒歩1分・会費3500円

お申込はショートメールで「参加します・名前」10月31日まで・・・

\*お問い合わせ携帯電話

長谷川まで

②女子会の集い

現在市内には女子の校友約170名が在住されており、女性同士の親睦を深めるおしゃべりの集い、勉強会など随時開催されております。

\*お問い合わせ携帯電話 江波まで

③散策の会・市内の遺跡見学

今年二回目の散策の会は市内に残る旧石器時代から縄文・弥生と続く人類の生活跡をたどる散策の会です。明治大学の考古学教室も遺跡調査に参加して多大な成果を上げました。

※お問い合わせ携帯電話 峯岸まで

④明球会・親睦ゴルフコンペ

別面に掲載\*お問い合わせ携帯電話 倉田まで

⑤ラクビー・野球の応援同好会

スポーツの感動は現場が一番です。ラクビー・野球好きの校友と共に応援に球場へ。ラグビー明・早戦を指定席で一緒に・・・ (指定席申込み締切日・10月5日)

\*お問い合わせ携帯電話 小関まで

⑥落語の立川志獅丸師匠後援会

総会でお馴染の市内在住、校友の落語家・立川志獅丸師匠を応援する後援会です。演芸場に出演があるたびに案内します。9月の国立演芸場へは6名の校友が参加。

\*お問い合わせ携帯電話 伊藤まで

⑦俳句同好会

俳句の好きな仲間が集いです。月に一度の清瀬地域支部主催の紫紺俳句会へ参加して近隣地域支部との親睦を図っております

\*お問い合わせ夏目まで

●総会のおお明治



●女子会企画

●七福神の七福神めぐり

たっぷり利益を授かりました



お天気に恵まれた4月21日地元の七福神めぐりに参加しました。地元にいながら意外と知らない事があります。都内でも東久留米の七

福神は有名だそうです。南沢の湧水に近い多聞寺は毘沙門天尊が祭られています。仏教伝来とともに、インドから来た軍神と称され、長寿とか成功の神とも言われています。南沢湧水群を左に見ながら歩いていくと、なんとめったに見られない「カワセミ」が小枝に止まっていて感動。水の中には鯉や大きな蛙もいて子供に帰ったような気分でした。昔の市役所の裏を通り米津寺へ。ここには布袋尊が祭られています。この福神は中国から見え大きなお腹で布袋を持ち開運・子宝に恵まれるとか。次は黒目川に出て川沿いを歩き大圓寺へ。駅にも近く大きなお寺で三体の神様が祭られていました。寿老尊は鹿をつれ、杖を持って、健康・幸福の神と言わ



れています。福祿寿尊は中国からの神で福は子孫繁栄、禄は財力、寿は健康だとか。恵比寿尊は唯一土着の神で釣り竿と鯛を持っているのが特徴で、大量豊作・商売繁盛がかなえられるといわれています。大圓寺から川を離れ浄牧院へ。インドから渡ったといわれるこの福の神・大黒天尊は打ち出の小槌を持ち五穀豊穡の神様です。そこから北へ向かい最後の宝泉寺に行きました。七福神唯一の女性



性の神・弁財天尊は琵琶を持ち、音楽を奏でる芸術での成功と財をもたらすと言われています。顔も身のこなしも上品

で、とても美しい字をたしなむ住職さんの奥様が案内してくれました。小さなお寺ですが、とても良い印象を受けました。約8kmを休憩なしの七福神めぐりは各所で御利益を授かりながら無事に出発点の駅に戻りました。駅前で軽い食事をしながら一息つき七福神の話に花が咲きました。参加者が少なかつたのが残念でしたが湧水に沿っての散策は翡翠に出会えたり色々な発見がありました。

校友の皆様もぜひ市内の隠れた名所の散策を・・・

●写真は上から順に浄牧院・弁財天・米津寺での記念撮影・

●随筆「明治大学と私」

峯岸文男



昭和四十年から生田のお山（農学部）で七年間過ごし、（最近の理工学部の兼任講師十五年を加えると二十二年間を数える）

群馬の実家が専業農家のため農業関係の職業を考え、当初から農学部を志望した。母校の県立太田高校は伝統のある進学校で殆ど理工・経済系志望者が多かった。入学後は生活が厳しくサークル活動には参加せず、バイトに終始した。仲間との深い絆は三年時の特別研究室時代からの五年間といえる。バイトテクノロジーがブームになりつつあり、私はその関係の微生物を用いた分析（バイオアッセイ）中心の研究室を選んだ。研究内容は著名な製薬会社社より高い評価を受け、依頼実験を高額な報酬で受託し懸命に頑張った。当時学生運動が激しく大学はロックアウト中だったが幸いにも生田の山はどこからでも潜り込めることが出来た。学連からは企業との癒着いわゆる「産学連携」と非難を受けたものだ。モルモットやラットの飼育は必然的にあり、盆も正月も日曜もなく時には研究室に泊まり込んだ。この実験動物の血液・筋肉等に微生物を用いて分析し、その成果を企業や学会（栄養化学）で論文として発表するという貴重な経験をした。寝食を共にした仲間とは思えない深いものがある。

親の援助を受けずに育英会や明大の奨学金、研究助成等で何とか生活することも出来た。当初の就業希望と縁遠い職に就いたが特殊なバイオ技術を身につけたこと、卒業時の学部総代や院生総代になれたこと等良い思い出が糧になり、その後の活動に役立つと確信している。

（昭和46・院農）・中央町在住

●明治大学校友会東久留米地域支部

〔役員会だより〕

4月7日第八三回役員会・15名出席

多摩支部関係・本部関係について義江支部長より報告①当年度の校友会の予算審議②大阪支部に新しく地域支部が誕生。全国223地域支部となる③校友会員の特別表彰制度を新設。④今年度の多摩支部総会の受付に女性役員を起用⑤多摩支部ゴルフ大会に2名出席。当地域支部関係では今年度の予算枠を55名に設定。通信費削減の検討。総会の案内・春の行事案内・会報等211通を投函。5月12日第八四回役員会・13名出席

義江支部長より明治大学の近況報告（多摩テックの賠償他）校友会本部関係では7月29日校友会全国代議員総会と9月30日校友会全国石川大会の開催の案内。5月20日開催の当地域支部総会について伊藤幹事長作成の総会進行表に基づき役割分担の確認。懇親会など予算は全て昨年並み。会計担当より本年度の会費振込みは43名と報告。ビジネス交流会、黒川農場見学の案内

6月9日第八五回役員会・10名出席

義江支部長より多摩支部関係の報告。7月の総会に当地域支部より7名の参加予定。当地域支部関連では近隣五地域支部総会へ参加した各役員より報告。5月開催の当地域支部の総会について意見交換。会場に設置された明大サポーター募金箱に24100円集まる。明大黒川農場見学会・明球会親睦ゴルフ会の報告

7月14日第八六回役員会・9名出席

義江支部長より7月1日多摩支部の定時総会には特に会の運営に女性会員の起用が効果的との報告。明年は7月7日に決定。9月29日開催の第54回全国校友石川大会に当地域支部は義江支部長・峯岸役員が出席。永倉副支部長より会員増強の件で提案があり、継続審議とする。地域支部会報第15号は9月の役員会に見本紙を提出。各人のチェックを受け9月25日に発送作業。9月の落語の志獅丸真打トライアルの参加者を募る。

（八月の役員会は休会）

●散策の会・母校訪問  
未来型農業システムに取り組み

明治大学黒川農場を見学

今年初めての散策の会は平成三十年五月二十九日(火)川崎市麻生区の黒川地区に六年前に開場した明治大学黒川農場へ九名の会員が参加して行われました。



当日は東久留米駅前を九時丁度に三台の車に分乗し、約一時間半で農場に入りま

した。まず農場本館で玉置専任教授より黒川農場設立の理念と三つのコンセプト・運営実態などがスライドを使い説明を受け

ました。当農場は明治大学の新たなサテライトキャンパスと位置づけられ①高度な先端技術を駆使した未来型エコシステムの農場。②学生のみならず子供・市民へ環境教育の場としての里山共生システムの農場。③川崎市と提携して農業公園づくりの中核的存在として市民・企業・行政と一体となった地域連携システムの農業の取組みなど。21世紀型の自然共生社会の構築を狙ったテーマは各



界から注目を受けているようにです。丁寧な説明のあとには玉置教授の案内で農場の見学です。まず里山の生態を観察できる自然生態園を一周のあと



室。社会人向きの農業を学習する講義室と作業棟に農場など三つのコンセプトを実際の現場で見聞することが出来ました。

見学者全員が未来型農業のコンセプトに感銘し、明大農場産の「サラダ用ほうれん草」「胡瓜の漬物」をお土産に帰路につきました



●写真説明・上段右より全自動の温室・学生の圃場。下段玉置教授を囲んで記念撮影・木造ハイブリッド構造の本館ホールと玉置教授よりスライドを使い説明を受ける一行

●黒川農場の概要

総面積…約12ヘクタール  
露地圃場…約1、4ヘクタール  
里山・雑木林…約6、4ヘクタール  
大型温室…3棟・中型1棟・小型3棟  
建築総面積…約8千㎡

●明治大学校友会  
東京都多摩支部定時総会

7月1日260名が参加開催



東久留米地域支部の上部団体である東京都多摩支部の第十五回定時総会は7月1日(日)午後1時より立川駅近くの立川グラウンドホテル4階の大宴会場に260名の校友が参加し

て開催されました。当地域支部から義江支部長をはじめ八名が参加し会を盛り上げました。定刻通り始まった総会は来賓挨拶に明治大学情報担当常勤理事の荒川氏より明治大学の近況報告があり、校友の積極的な支援を乞われました。総会の議長選出では初めて女性指名され大役を無事勤めました。議事は1号議案から5号議案まで承認され総会を終了。第2部のアトラクションは宝塚OGと多摩支部女性会とのコラボの歌と踊りを披露しました。第3部の懇親会は多摩地区父兄会代表岡本氏より祝辞。佐藤東京都西部支部長の乾杯ではじまり、中華料理の卓を囲みながら校友同士の親睦が図られました。現役学生の津軽三味線の演奏が会場を盛り上げてくれました。最後に校歌斉唱。明治大学と多摩支部万歳で会を無事終了しました。

●第54回全国校友石川大会

9月29日(土) 30日(日) 金沢で開催

(来まつし見まつし寄るまつし)の合言葉で全国から校友が一堂に会し、旧交を温め母校の発展を支援するものです。当地域支部からは義江支部長、峯岸役員が出席します。

●母校・明治大学の最近の話題・お知らせ

●第21回ホームカミングデー

10月28日(日) 駿河台キャンパスで開催

校友の皆様の参加をお待ちします

明治大学が校友の皆様をあたたくお迎えする日です。今日の明治大学の現状を公開、「学ぶ・見る・聴く・買う・体験する・食べる」など沢山の学内での楽しい行事に参加体験できます。ご家族や友人と一緒にお出かけください。今年の特別招待卒業年度は昭和33年・43年・53年・平成10年・20年の卒業生に招待状がご自宅へ届けられます。問い合わせ：03・32966・4726

●校友も学べる秋期公開講座を受付中

生涯学習拠点の明治大学リバティアカデミー「秋の公開講座」の受付が始まりました。教養・文化・資格・実務・語学など全201講座の中から興味のあるものが学べます。まずは秋季の開設講座紹介のパンフレットを取り寄せてみてください。

問い合わせ：03・32966・4423

●海外トップスクールへ6人が留学

「海外トップユニバーシティ留学奨励助成金」制度のうち特に成績・語学要件が優秀な「留学奨励助成金S」の対象大学・留学プログラムに明大生6人がハーバード大学、スタンフォード大学などへ留学を始めました。「助成金S」は最大300万円支給されます。

●ラグビー部春季大会で初優勝

体育会ラグビー部は春季大会の最終戦で大東文化大学に80-14の大差をつけて快勝し初優勝を飾りました。

\* \* \*

●明治大学校友会東久留米地域支部会報

第15号平成30年9月25日発行  
発行責任者・義江邦夫・編集川島・夏目